

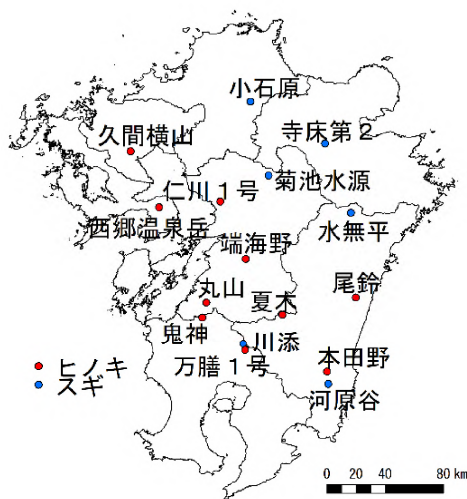


収穫試験地とは

～森林の成長に関する固定試験地～

(国研) 森林機構 森林総合研究所九州支所森林資源管理研究グループ

森林総合研究所では、林野庁の各森林管理局と共同で、全国に約160か所の収穫試験地を国有林に設定し、長期継続調査データを収集しています。九州支所森林資源管理研究グループでは、九州森林管理局が管轄する国有林内に、スギ13箇所、ヒノキ21箇所、アカマツ1箇所の、合計35箇所の試験地を設定し調査を実施してきました。これらの試験地の概要について報告します。

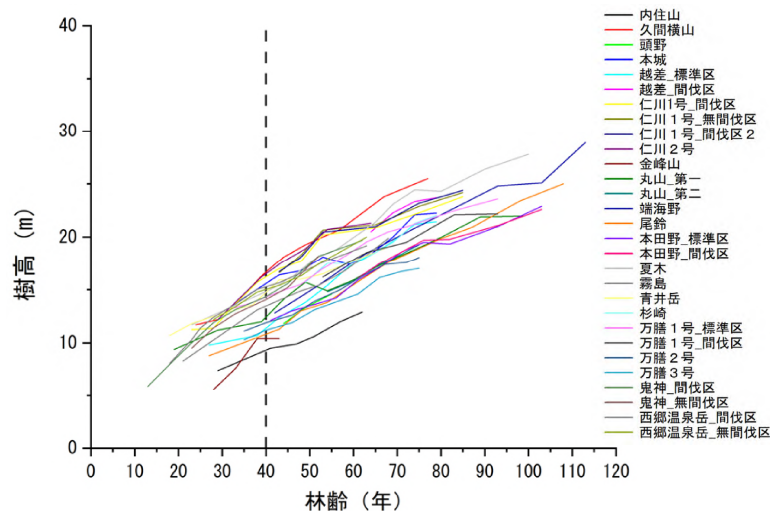


調査を継続している試験地

赤い丸はヒノキの試験地

青い丸はスギの試験地

現在、ヒノキ10箇所、スギ17箇所の、
合計17箇所の試験地で、調査を継続中です。

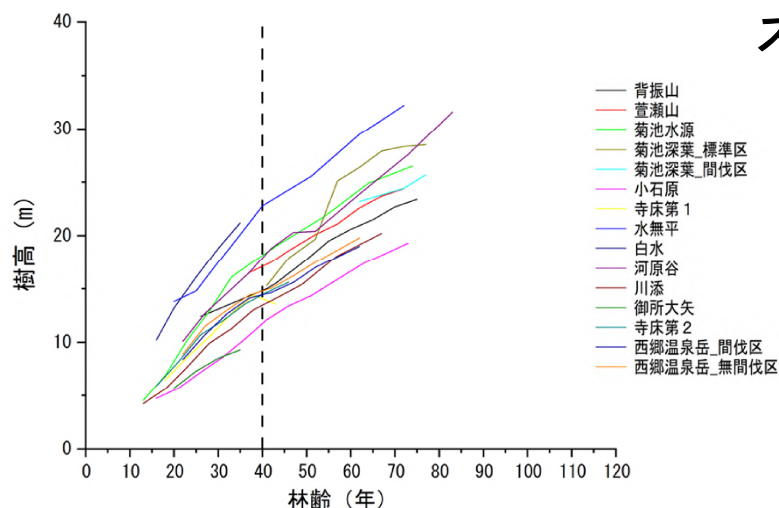


ヒノキの全試験地の樹高成長

林齢40年生の点線は地位指数と呼ばれる
もので土壌生産力の量的な指数を示します。

ヒノキで、地位指数の最大値を示したのは
佐賀県嬉野市塩田町に設置されている
久間横山試験地で、16.7でした。

すべての試験地で、50年生を超える林齢で
あっても、右上がりの成長を継続していま
した。



スギの全試験地の樹高成長

林齢40年生の点線は地位指数を示します。

スギで、地位指数の最大値を示したのは、
宮崎県日之影町に設定されている水無平
試験地で、22.8でした。

スギもヒノキと同様、すべての試験地で、
50年生を超える林齢であっても、右上が
りの成長を継続していました。